

里山整備、環境づくり事業

取組に至る背景・事業の目的

松川町生東地区は、山林に囲まれた地域で、昔から里山を含む山林や急傾斜地での農業等の産業が盛んだったが、高齢化や後継者不足により山林や農地の荒廃が進んでいる。そのため、里山を整備しながら、景観の保持を行い、炭や薪等の生産により地域資源の再利用を進める。

また、高齢者が生きがいを感じ、若年層が地域に活動力を与えるような地域を目指し、地域内外に参加者を募っていく。

人口減少が進む中で、生東地区で安心して暮らしていきける地域を目指す。

事業内容

○里山整備事業

主要道路や河川の支障木等を伐採し、薪にしたり、住民協働で製作した炭焼釜で木炭を作るなどして、里山の整備とその資源の活用を図った。これらの薪や炭は高齢者等へ提供していく。

また、「信州 山の月間」にあわせ、8月3日に「生東の森まつり」を開催した。地域内外から約150名の参加があり、地域ににぎわいが生まれた。



【炭焼釜】

○環境づくり事業

生東地域は八重桜の花の生産が盛んで、道路沿いの荒廃地に植栽を行っているが、鹿の食害被害を受けている。食害防止ネットを整備し、きれいな桜並木を維持した。



【生東の森まつり】

事業効果

薪や木炭づくりの基盤が整備できるとともに、木炭は松川町のふるさと納税の進呈品にも加わる等、今後の継続的に活動を続ける体制が整った。

また、「生東の森まつり」には当初の見込みを約50人上回る来場者があり、子ども達にも山の資源の活かし方を伝えることができた。このイベントにより、生東森の会の活動が広く知られるきっかけとなったことで、新たに2名の会員が増えた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後も山主等から材木の情報をもらい、薪や木炭づくりを継続していきたい。

桜を活かした環境づくりについては、食害の心配はなくなったが、きれいな桜並木を維持するため、引き続き草刈り等の管理を継続していく。

【選定のポイント】

地域住民自らが、荒廃の進んだ山林の再生を目指して、木炭製作を進めるとともに、高齢者の生きがいづくりや子ども達との交流を進めた。また、製作した木炭は松川町のふるさと納税の進呈品に加わる等、活用も図られている。

団体名	生東森の会 (松川町)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	0265-36-4166	事業費	712,054円
メールアドレス	36-touge@dia.janis.or.jp	支援金額	483,000円